

経営比較分析表

石川県 志賀町

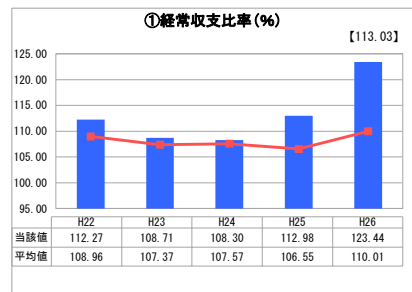
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A6
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	81.59	89.35	3,448

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
22,032	246.76	89.29
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
19,555	108.86	179.63

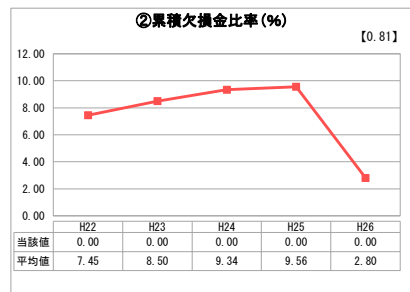
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

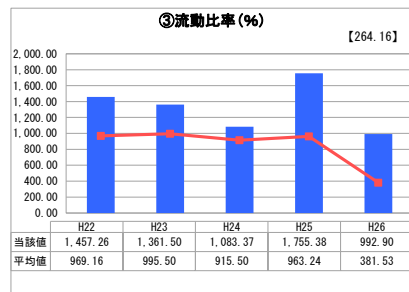
1. 経営の健全性・効率性



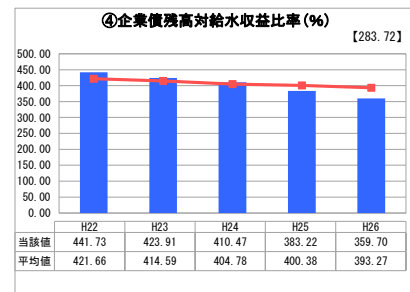
「経常損益」



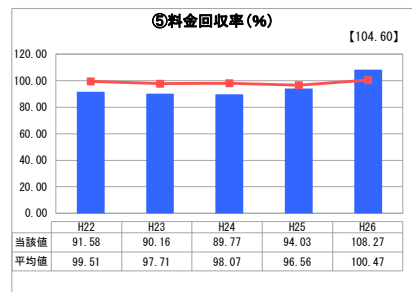
「累積欠損」



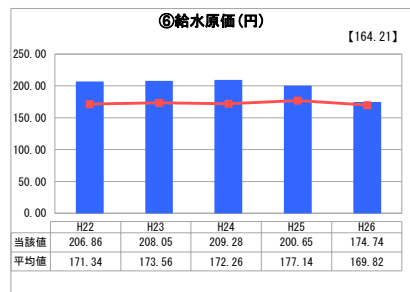
「支払能力」



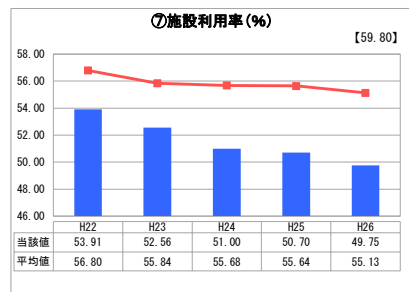
「債務残高」



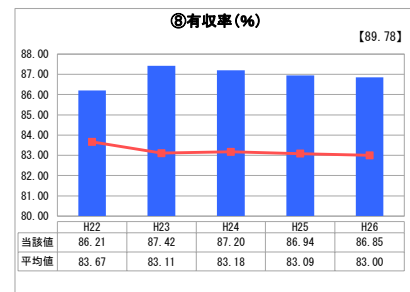
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

分析欄

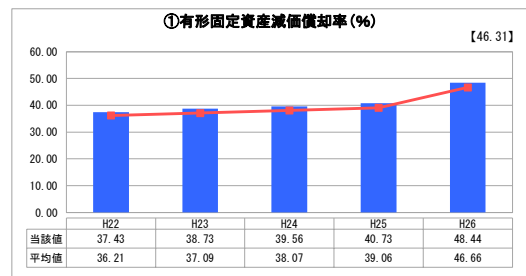
1. 経営の健全性・効率性について

平成22年～26年度で黒字を維持しているが、給水収益は減少しており、一般会計からの繰入金により黒字を確保している。しかし、平成26年度は、1,085万円の営業損失を計上しているため、更なる費用の削減に努力しなければならない。また、施設利用率は、類似団体に比べ低い傾向にある。今後は、志賀町水道ビジョンにあるとおり、施設の統廃合を行うことにより、施設利用率を上げていきたいと考える。

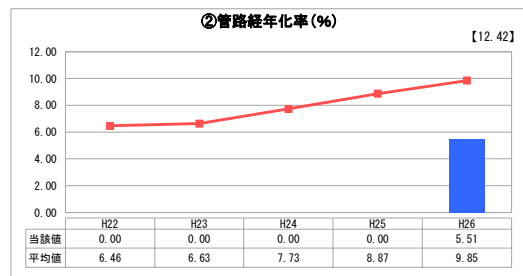
2. 老朽化の状況について

下水道の管路工事に伴い老朽管等の更新を進めているため、管路の老朽度合いはそれほど高くない。今後、下水道事業が完了する平成29年度以降の老朽管の更新計画を立て、計画的に更新を行う必要がある。

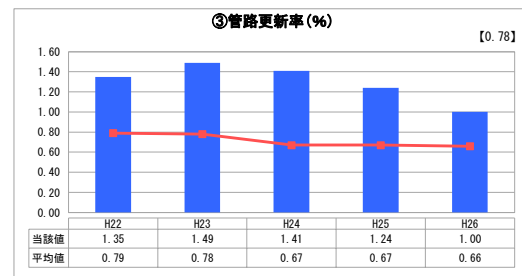
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

全体総括

安心・安全な水を安価な料金で安定的に供給するため、費用の削減及び老朽管の更新、並びに配水池等の耐震化を行い、更なる住民サービスの向上に努める。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。